

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かろう）（第3回）
- 2 開催日時 令和7年 2月 13日（木） 10:30～12:30
- 3 開催場所 加納高等学校 視聴覚室
- 4 参加者  
会長 高橋 利行 池田町教育長  
副会長 富樫 幸一 岐阜大学名誉教授  
委員 小島 紀夫 （公財）岐阜県教育文化財団総合プロデューサー兼支配人  
嘉根 礼子 サラマンカホール支配人  
平木 一弘 加納西自治会連合会代表  
水野 律子 加納まちづくり会会長  
和智 陽子 PTA 副会長

学校側	高橋 宗彦	校長
	向田 富紀子	教頭
	衣斐 恵美子	事務部長
	林 圭子	教務部長
	藤田 英博	ゆめ加納企画局長
	西川 かおり	教務部担当

### 5 会議の概要

#### (1) スクール・ミッションの策定について

意見1：修正案について承認する。

#### (2) 令和8年度からの新たなカリキュラムの編成について

意見1：大学側から見ると、より細分化されてしまった印象がある。もっと大まかでもよい。

意見2：新カリキュラムについて、「融合」を考えるならば、たとえばむしろ授業時数を減らして行事を増やし、科を超えた交流が持てるようにしてほしい。

⇒普通科・音楽科・美術科の融合について、科を超えて触れ合う場ができないか来年度以降に検討する。

#### (3) 生徒によるマレーシア海外研修旅行（普通科）報告について

意見1：研修中一番大きな声を出した時はどんな場面だったか。

⇒マレーシア国民大学の大学生との交流や、ヒンドゥー教のバツウ洞窟を訪れた時に感動して大きな声が出た。

意見2：日本の文化を英語で伝えることや、自分たちの文化を誰かに伝えるために学ぶことも大きな勉強になったのではないかと思うのでそこも感じてほしい。

#### (4) 生徒によるグローバル探究授業成果発表（普通科）について

意見1：社会のニーズに合っているかどうか幅広い目で見て、検討してみるとよい。

意見2：なぜ問屋街をテーマにしたのか。

⇒実際に付近の進学塾に通っていて、ふと疑問に思ったから。

意見3：住み続けることのニーズについて調べるとよい。

意見4：岐阜は名古屋のベッドタウンと言われてしまうので、そういう場所として岐阜に必要なものは何なのか、生活をリアルに想像して検証してみるとよい。

意見5：大人が話していても進んでいかない岐阜の課題について、高校生が「このままではいけない！」と思って声を上げてくれることが素晴らしい。

#### (5) 令和6年度自己評価・学校関係者評価について

意見1：品性のある豊かな人間性が育ってこれば、おのずと普段の行動に生きてくるはず。生徒指導や交通マナーに関しての指導が必要でなくなってくるとよい。「やっぱり加納高校っていいよね」と地元住民が言えるように、他の学校にないものを育ててほしい。

意見2：自転車のマナーについて気になることは、ほとんどの生徒がヘルメットをかぶっていないこと。努力義務ではあるが、そういう規則をもう少し守れるようになるとよい。以前に比べるとマナーはよくなった印象はある。

意見3：音楽科・美術科との交流（文化祭など）が少しでもあると、感受性が豊かな生徒たちは感じるものがたくさんあるのではないかな。

意見4：進学関係（普通科）のみではなく、芸術方面（音楽科・美術科）の成果と課題についての記載も入れてほしい。

意見5：「ゆめ」とは何をもって夢と呼ぶのか。目標が夢になったり、期待が夢になったりする場合がある。生徒の「ゆめ」とは何かを模索する機会、自分がどんなものに向かっていたいのかを考える機会があるとよい。そうすればおのずと、基礎学力を高めていくうえで、なぜそれが大事なのか分かるようになる。

意見6：自分たちがどうやってこの先暮らしていくのかをイメージできる機会があるとよい。大学進学・受験のみにとどまらない、その先を考える機会があるとよい。

#### 6 会議のまとめ

- ・スクール・ミッションの修正案について承認が得られた。
- ・生徒による探究活動の報告については有意義な助言が得られたとともに、探究活動の意義を再確認できた。
- ・加納高校として、学科を超えた交流の機会の工夫や幅広いキャリア教育の充実により豊かな人間性と創造性をもった生徒を育てていく。